

### 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による機能強化対策

●(主)新潟中央環状線 【第2次緊急輸送道路】



くろさき茶豆大橋

黒埼スマートIC

#### 現状と課題

・新潟中央環状道路は、多核連携型の都市構造を構築するための道路ネットワークの1つとして、新潟都市圏を環状型に結ぶ全長約45kmの主要幹線道路です。このうち、国道8号から国道116号までの区間（約9km）において、中ノ口川を跨ぐ橋の道路幅員が狭く、河川断面による道路ネットワークの分断が生じていました。

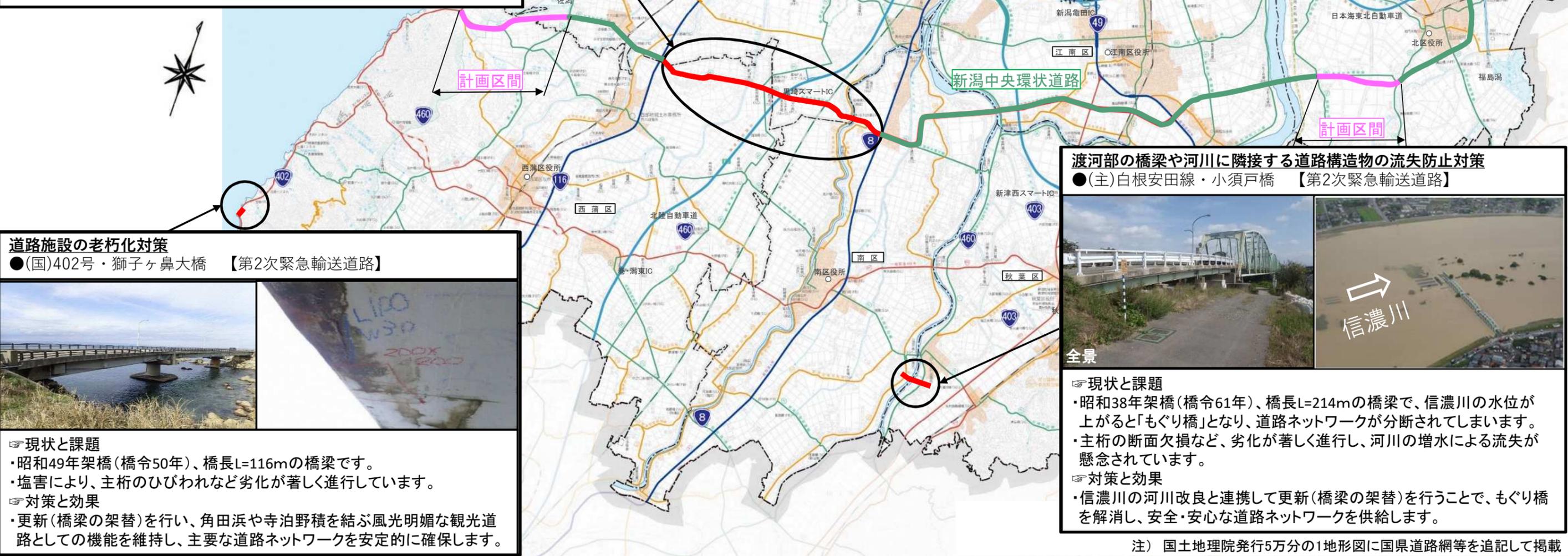
#### 対策と効果

- ・当該事業区間の開通により、道路ネットワークの分断が生じていた白根地区、黒埼地区へのアクセスが向上しました。
- ・くろさき茶豆大橋を北陸自動車道に架け、黒埼スマートICと接続させることで、道路ネットワークのさらなる機能強化と、周辺の工業団地から北陸自動車道までの物流の効率化が図られました。

### 国土強靱化5か年加速化対策の基本的な考え方

- 近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、巨大地震が切迫しています。また、高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化するなか、適切な対応をしなければ社会経済システムが機能不全に陥るおそれがあります。
- このため、国では国土強靱化の取り組みの更なる加速化・深化を図るため、令和2年12月に「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を策定し、令和3年度から7年度までの5年間に重点的かつ集中的に対策を講ずる自治体等に財政支援しています。
- 新潟市では、激甚化・頻発化する自然災害や老朽化するインフラへの機能強化・更新に対して、国からの財政支援を受けることで、緊急輸送道路等の道路ネットワークの整備や老朽化した橋梁や跨線橋の更新などを計画的に進めており、市民の皆様が安全・安心に暮らせるよう取り組んでいます。

凡例	
	対象事業
	計画区間
	高速道路
	直轄国道
	補助国道
	主要地方道
	一般県道
	市街化区域



### 道路施設の老朽化対策

●(国)402号・獅子ヶ鼻大橋 【第2次緊急輸送道路】



#### 現状と課題

- ・昭和49年架橋（橋令50年）、橋長L=116mの橋梁です。
- ・塩害により、主桁のひびわれなど劣化が著しく進行しています。

#### 対策と効果

- ・更新（橋梁の架替）を行い、角田浜や寺泊野積を結ぶ風光明媚な観光道路としての機能を維持し、主要な道路ネットワークを安定的に確保します。

### 渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策

●(主)白根安田線・小須戸橋 【第2次緊急輸送道路】



#### 現状と課題

- ・昭和38年架橋（橋令61年）、橋長L=214mの橋梁で、信濃川の水位が上がると「もぐり橋」となり、道路ネットワークが分断されてしまいます。
- ・主桁の断面欠損など、劣化が著しく進行し、河川の増水による流失が懸念されています。

#### 対策と効果

- ・信濃川の河川改良と連携して更新（橋梁の架替）を行うことで、もぐり橋を解消し、安全・安心な道路ネットワークを供給します。

注) 国土地理院発行5万分の1地形図に国県道路網等を追記して掲載